平成30年9月吉日

“寺ｄｅサイエンス”開催趣意書

公益財団法人遺伝学普及会は、昭和22年（1947年）国立遺伝学研究所設立のための準備母体として発足し、以来70余年にわたり遺伝学の社会への普及活動を行って参りました。学術出版、教育資料頒布、遺伝学講座などは、その普及活動の一端を示すものです。

　昨年、創立約100年を誇る日本遺伝学会と遺伝学普及会が、内閣府認可の下に合併を果たしました。これを契機に、2008年～2011年にシリーズ化して行われた“蔵de　サイエンス”の復刻版である、サイエンスカフェの開催を企画しました。一般市民を対象に、生命科学に関する話題を分かり易く提供し、自由な雰囲気の中での対話を通し、理解を深めていただける少人数制の催しです。

講師は、公益財団法人遺伝学普及会　五條堀孝代表理事と、同じく公益財団法人遺伝学普及会代表理事でもあり、日本遺伝学会の会長でもある小林武彦氏の二人です。最新の生命科学の発展をダイナミックで国際的な研究を通して紹介いたします。会場は、三島市広小路にある蓮馨寺をお借りします。今回はお寺ということもあり、「寺ｄｅサイエンス」と名付けました。

　「寺ｄｅサイエンス」の開催に地元の企業・団体および一般市民の皆様には本趣旨にご賛同を賜り、ご指導とご協力をお願い申し上げます。

記

1. 日時　：平成30年10月19日（金）　19時00～20時30分
2. 場所　：君澤山 蓮馨寺（三島市広小路町1-39）

　公益財団法人遺伝学普及会

代表理事　五條堀孝